

日本に米軍の抑止力は必要か

マスコミは沖縄の米軍基地をめぐる、鳩山首相が約束した、5月末までに結論を出す、は振り出しに戻った、と報道しています。これは、米軍普天間飛行場を辺野古沖合に、くい打ち方式で代替施設として建設するという政府案に対してアメリカ側が、反対したためです。反対の理由は、海中からのテロ攻撃や上空からのミサイル攻撃に弱く、反撃態勢をとるのが困難だということです。

アメリカの対応よりも心配なのは、鳩山首相が沖縄を訪問し、「抑止力として」基地は必要との認識を示したことです。本当に私たちにとって米軍の抑止力は必要でしょうか。マスコミは基地問題に対し、一貫して非難しつづけていますが、そんななか新聞の投稿に「米抑止力か自衛力強化か」というのがありました。これは抑止力がなくなれば、憲法を改正し自衛隊を軍隊にしなければならなくなるから沖縄に基地があるのはやむを得ないということでした。

また「普天間は、解説者も意見を」もありました。これは、マスメディアのコメンテーターは批判するだけでなく自身がどう考えるのかを表明すべきだという意見ですが、自分は沖縄県外の自衛隊基地内に移転すべきだ、ということでした。

双方ともに一理ある意見だと思いますが、しかし肝心なことが抜け落ちているような気がします。戦争に賛成なら基地をなくしてでも日本は軍備をして戦争のできる国に、と求めるべきです。逆に反対なら日本・世界から一切の基地を廃絶するよう求めるべきです。そもそも日米安保条約や沖縄返還協定では、米国は日本国内に米軍基地を置き日本と極東の平和と安全に寄与する、となっています。だから、政権交代の公約として掲げても簡単に出来るわけではないのです。かりに基地はいらないと言ったら日本は攻撃されるのでしょうか？ 7月の参議院選挙は間近です。 **みなさん 少し勇気を出して**

鳩山首相に 私は こんな風にしてほしい と言いましょ
う
・米軍基地を撤去してほしい・戦争のための日米安保条約を破棄
してほしい・自衛隊の軍隊化をせず、憲法9条を守ってほしい・